

武生商工会議所

管内事業所景気動向調査 令和6年7-9月期

調査期間 令和6年9月26日(木)～令和6年10月11日(金)
調査方法 FAXによる送付(回収:FAX、Googleフォームによる回答)
調査対象 武生商工会議所の会員 小規模事業所を中心に抽出
調査票配布数 582件
調査回答件数 133件
回収率 22.9%
 (今期:令和6年7-9月期 前期:令和6年4-6月期 来期:令和6年10-12月期)

(1) 業種・従業員規模

	①	②	③	④	⑤	無回答	合計	割合
	5人以下	20人以下	50人以下	100人未満	100人以上			
①製造業	5	10	9	5	8	0	37	27.8%
②卸売業	7	4	4	1	2	0	18	13.5%
③小売業	14	6	1	1	0	0	22	16.6%
④飲食・サービス業	8	7	1	2	3	0	21	15.8%
⑤建設業	1	9	6	0	0	0	16	12.0%
⑥その他	5	6	4	2	2	0	19	14.3%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	40	42	25	11	15	0	133	100.0%
割合	30.0%	31.6%	18.8%	8.3%	11.3%	0.0%	100.0%	

●調査結果まとめ

「景況感の改善傾向続くも、資金繰りと採算は悪化！北陸新幹線開業は一部に効果あり！」

業界全体の景況DI値は、前期（令和6年4-6月期）から1.7ポイント増の▲5.3で2期連続でマイナス幅が減少。業種別では、卸売業や建設業が上昇し0.0となった一方、運送業を含む「その他」業種は▲21.1と悪化。

売上高のDI値も全業種で4.9ポイント増加し2期連続上昇、特に卸売業や飲食・サービス業がプラスとなった。

仕入価格は前期より4.6ポイント減少したが、依然として高水準で、9割以上の企業が価格上昇または不変と回答。

今期の資金繰りについて、DI値で見ると、（前期▲6.3→）▲9.8（前期差3.5ポイント減）と3期連続で悪化。

今期の採算について、DI値で見ると、（前期▲9.8→）▲15.8（前期差6.0ポイント減）と2期ぶりにマイナス幅が拡大した。

北陸新幹線の開業に伴う効果を実感している企業は、前回の調査と同様に少ない結果となったが、「飲食業」や「宿泊業」では引き続き好調な影響が見られる。また、新幹線の開業をきっかけに、多くの企業が新商品（紫式部に関連する商品等）の開発など販促活動も積極的に展開されている。

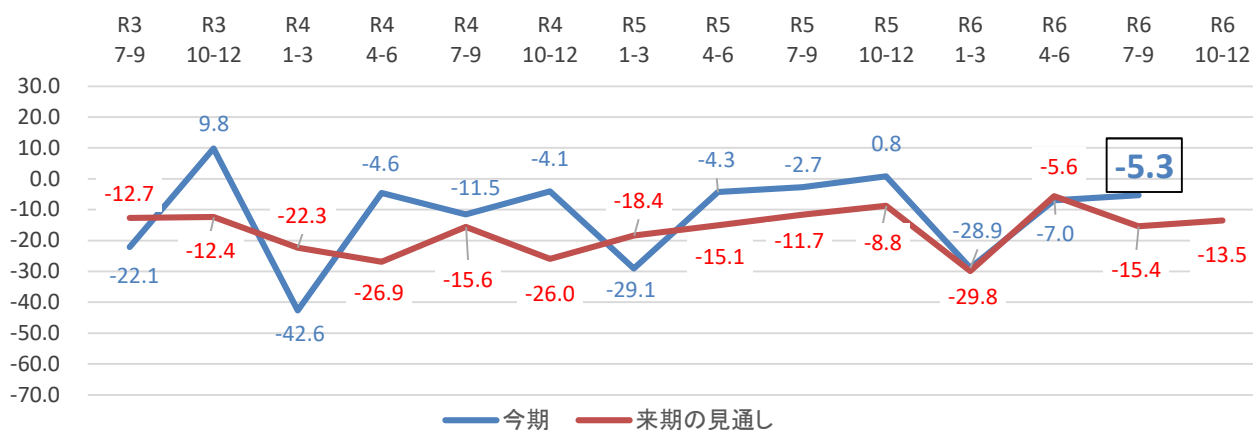
【問1 今期の景気状況について】

今期の景気状況について、DI値（「好転」－「悪化」）で見ると、（前期▲7.0→）▲5.3（前期差1.7ポイント増）となり2期連続でマイナス幅が減少した。

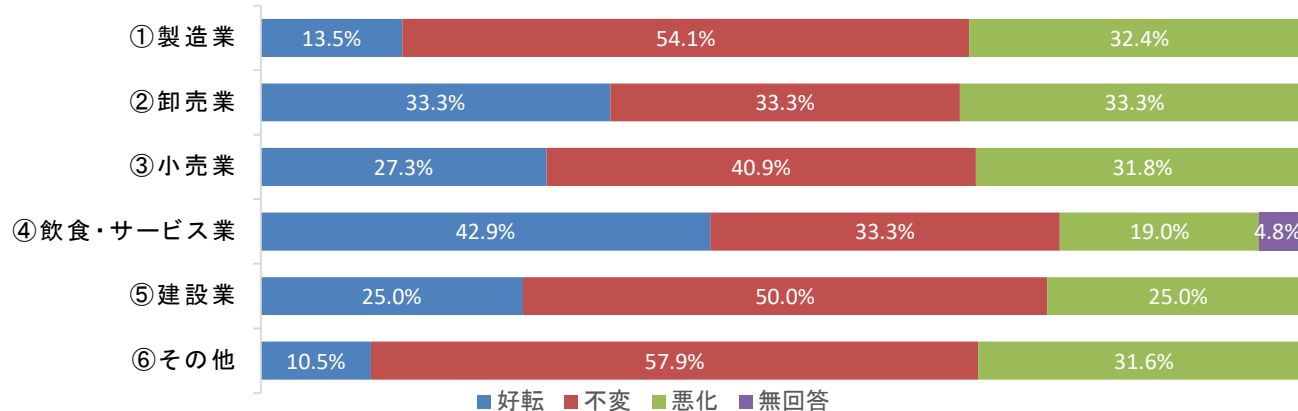
来期の見通しDI値については、今期（▲5.3）と比較し8.2ポイント減少して▲13.5となる見込み。その他の業種以外で低下が見込まれている。

業種別でみると、前期と比較したDI値は、建設業が0.0（前期差33.3ポイント増）と改善幅が大きかった。その他（主に運送業）が▲21.1と前期と比較して悪化と回答した割合が他の業種と比べて高かった。

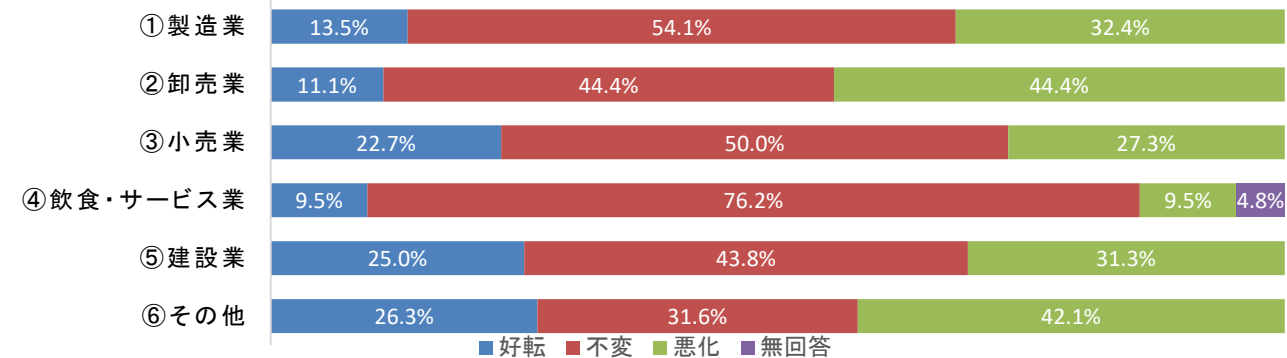
景況DI値（「好転」－「悪化」）の推移 全体



問6② 業種別 今期の景況状況 前期との比較



問6③ 業種別 今期の景況状況 来期の見通し

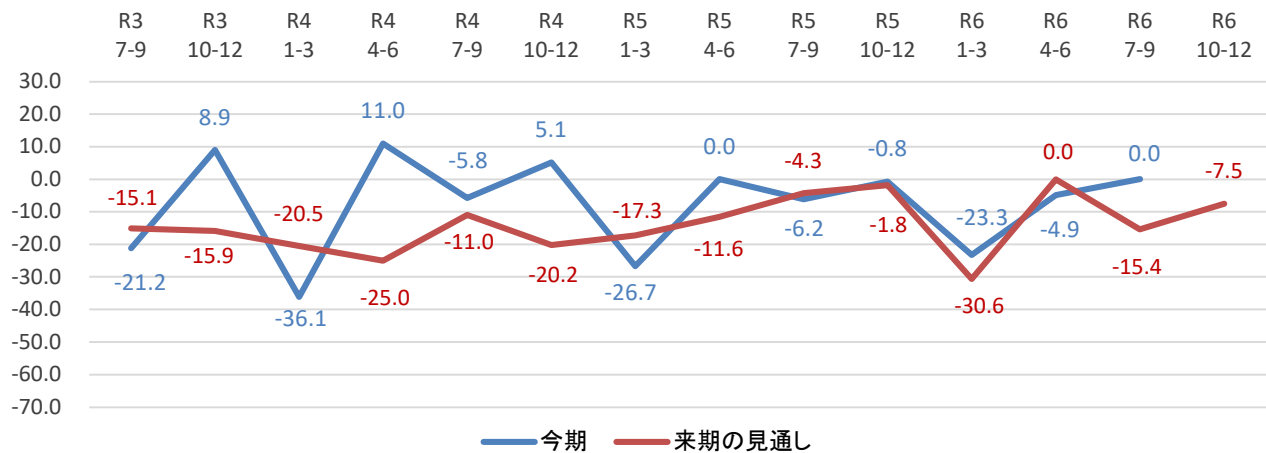


【問2 今期の売上高（受注高・出荷額等）について】

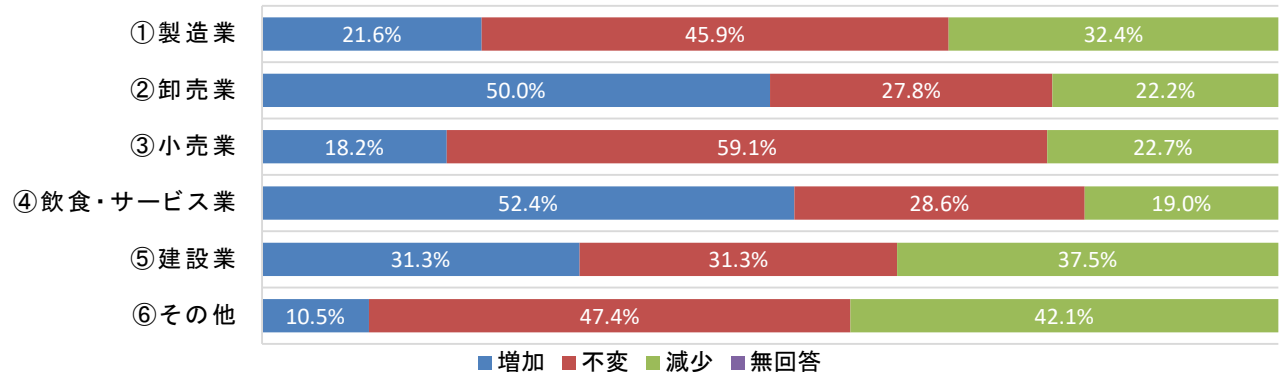
今期の売上高について、D I 値（「増加」-「減少」）で見ると、（前期▲4.9→）0.0（前期差4.9ポイント増）と2期連続で上昇した。来期の見通しD I 値については今期（0.0）から7.5ポイント減少し▲7.5となる見込み。製造業、その他の業種以外で低下が見込まれている。

前期と比較したD I 値は、卸売業で（前期▲4.3→）27.8（前期差32.1ポイント増）と大幅に改善しプラスへ転じた。

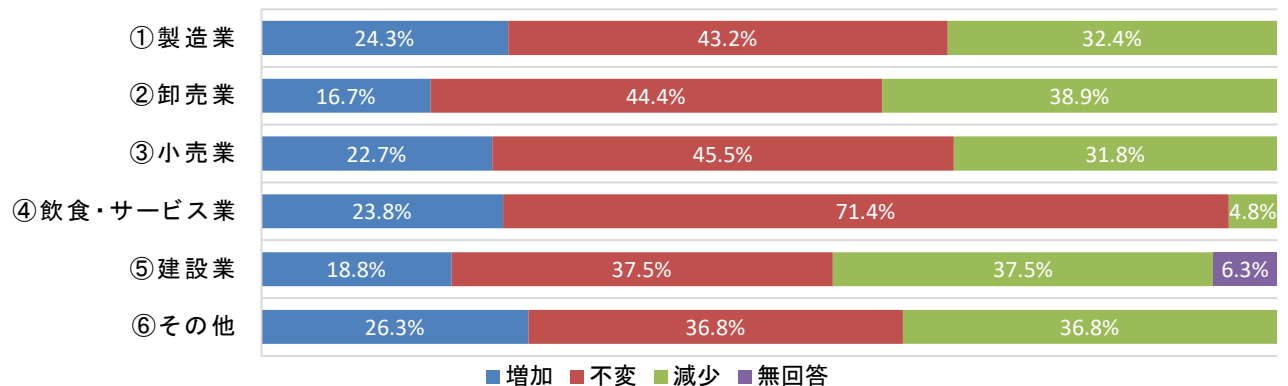
売上状況D I 値（「増加」-「減少」）の推移 全体



問2② 業種別 今期の売上高 前期との比較



問2③ 業種別 今期の売上高 来期の見通し



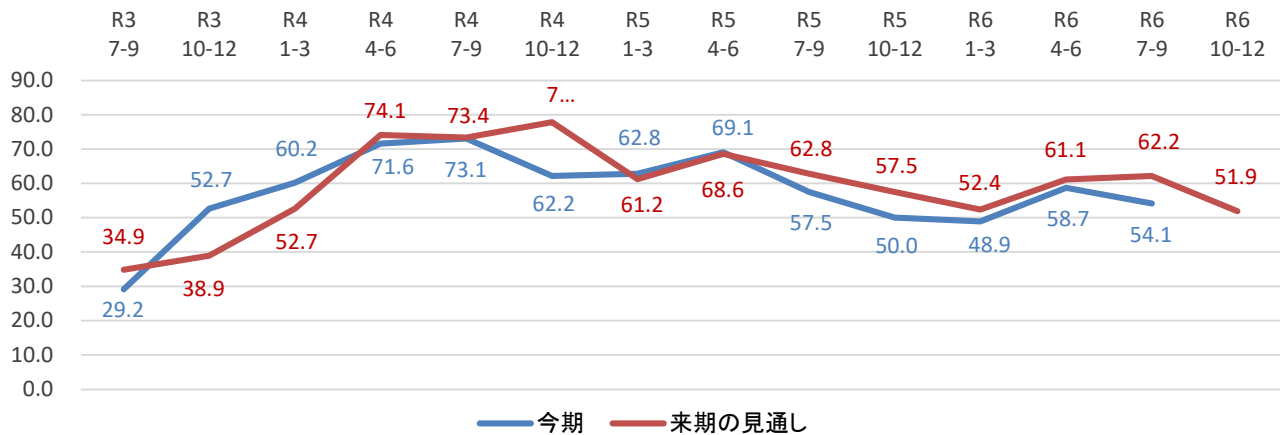
【問3 今期の仕入単価（商品・原材料等）について】

仕入価格については、D I 値（「上昇」-「低下」）で見ると、（前期58.7→）54.1（前期差4.6ポイント減）と低下したが、全業種で上昇または不変と回答した企業が9割以上。

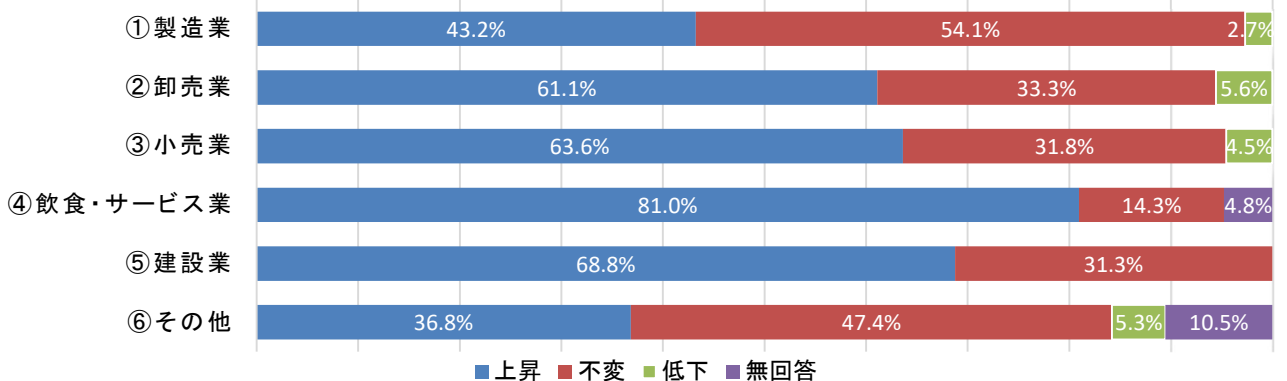
来期の見通しD I 値については、今期（54.1）から2.2ポイント減少し51.9となる見込み。

前期と比較したD I 値は、飲食・サービス業のD I 値が（前期76.5）4.5ポイント上昇し、81.0となり高い水準が継続している。また、建設業においては、16.4ポイント増加し大幅な上昇となった。

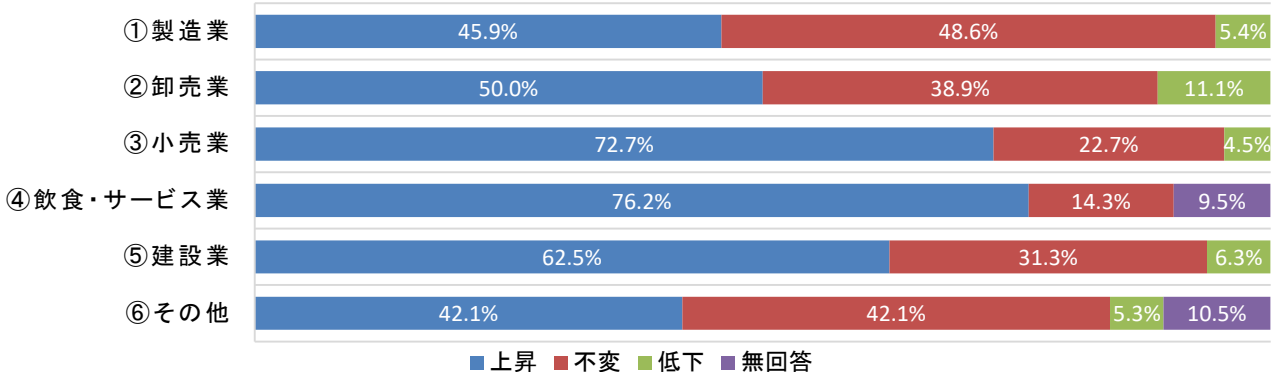
仕入価格D I 値（「上昇」-「低下」）の推移 全体



問3② 業種別 今期の仕入単価 前期との比較



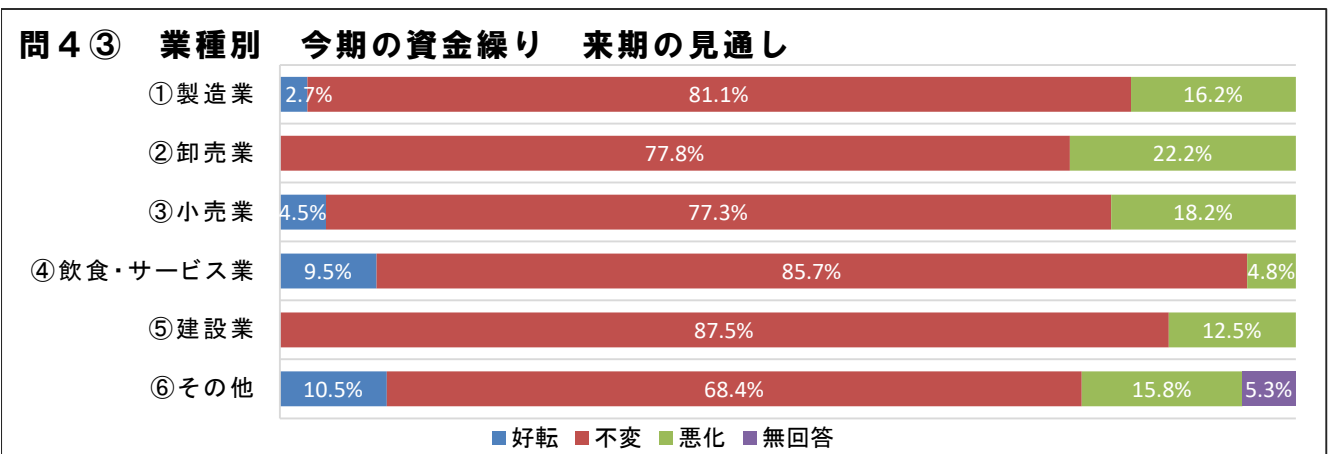
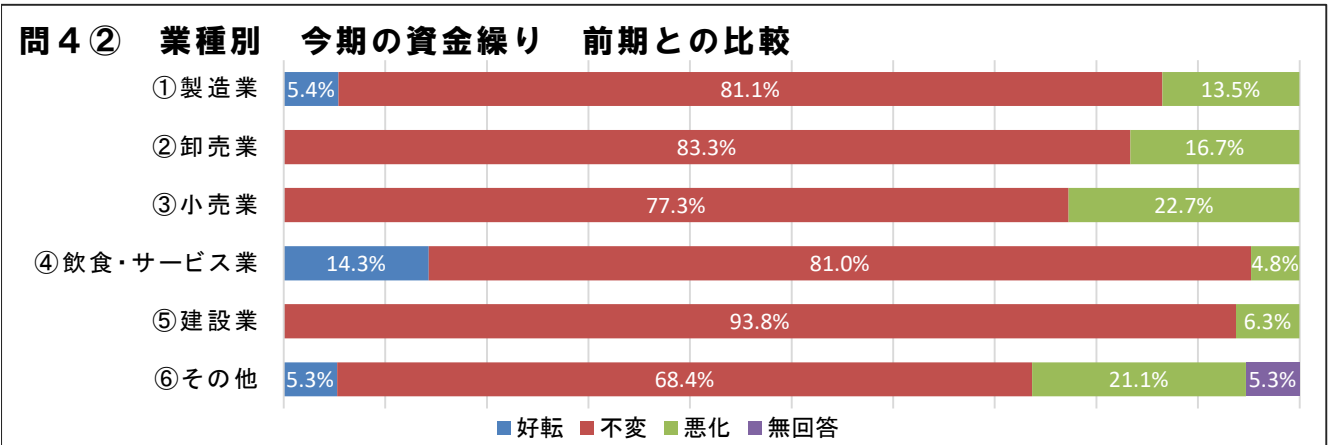
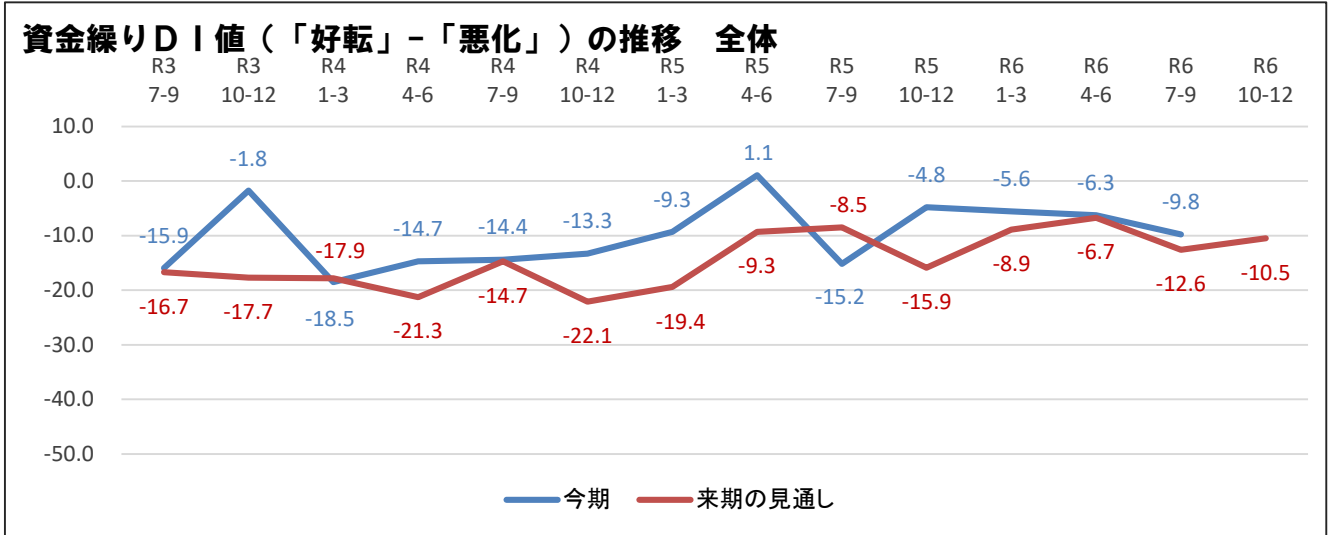
問3③ 業種別 今期の仕入単価 来期の見通し



【問4 今期の資金繰りについて】

今期の資金繰りについて、D I 値（「好転」-「悪化」）で見ると、（前期▲6.3→）▲9.8（前期差3.5ポイント減）と3期連続で悪化。来期の見通しD I 値については、今期▲9.8から0.7ポイント減少し▲10.5となる見込み。

業種別でみると、飲食・サービス業を除き悪化。建設業が（前期4.8→）▲6.3（前期差13.0ポイント減）とプラスからマイナスに転じた。

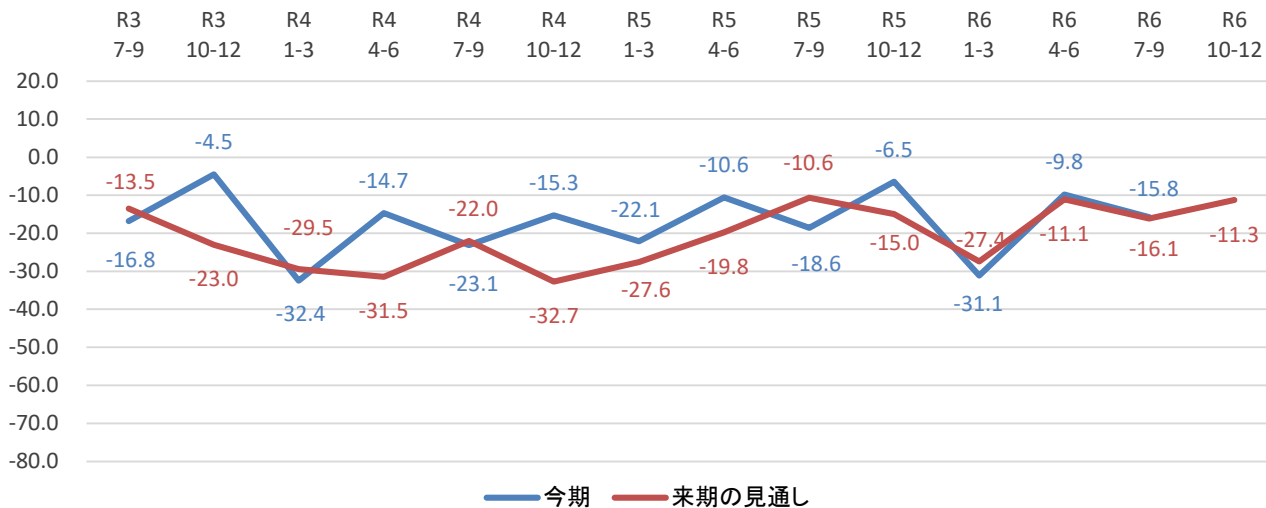


【問5 今期の採算について】

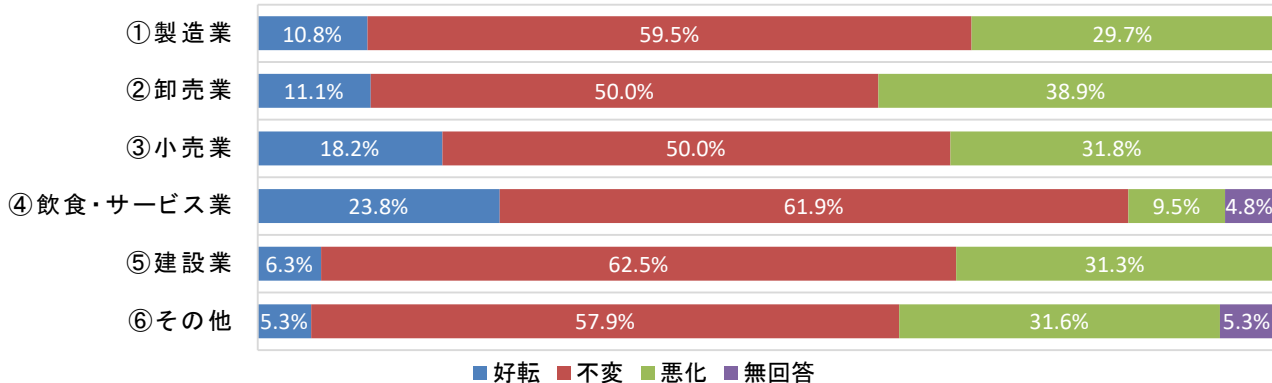
今期の採算について、D I 値（「好転」－「悪化」）で見ると、（前期▲9.8→）▲15.8（前期差6.0ポイント減）と2期ぶりにマイナス幅が拡大した。来期の見通しD I 値については、今期（▲15.8）から▲11.3へ4.5ポイント増加見込み。

業種別でみると、建設業が（前期▲4.8→）▲25.0（前期差20.2ポイント減）とマイナス幅が拡大した。

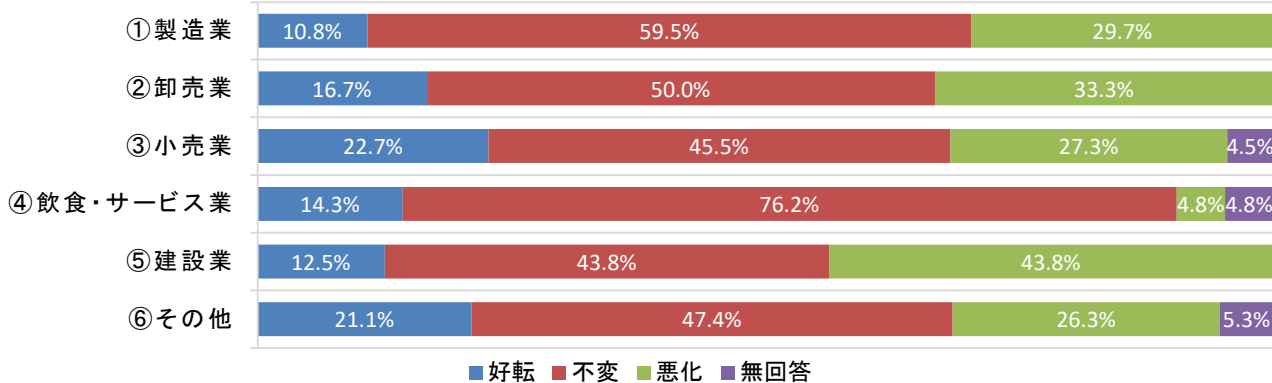
採算D I 値（「好転」－「悪化」）の推移 全体



問5② 業種別 今期の採算 前期との比較



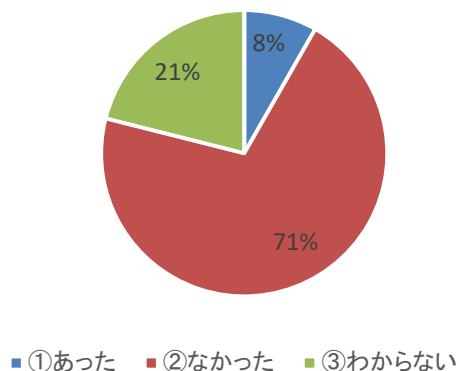
問5③ 業種別 今期の採算 来期の見通し



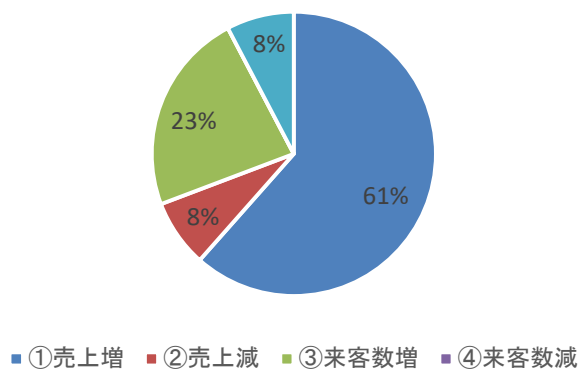
【問6 北陸新幹線開業に伴う影響について（7-9月期）】

影響があったと回答したのは8.3%で影響がなかったと回答したのが70.7%だった。影響があったと回答している多くは、「飲食業」「宿泊業」「鉄道業」「卸売業」であった。全体的に効果を感じる企業は前期と同じで少ない結果となった。北陸新幹線開業を契機に新商品の開発（紫式部関連商品や北陸新幹線を利用した旅行企画等）、県外への出展など販路拡大へ向けた取り組みを行っている企業があった。今後への効果の期待としては、「大いにしている」、「ある程度している」と回答した方より「していない」と回答した方が上回った。

問6①-1 北陸新幹線開業の影響について



問6①-2（「影響があった」と回答した方）具体的に影響があったもの



問6③ 今後（R6年10月～12月期）、効果に期待しているか

